

公開シンポジウム 「医療における病理解剖」

平成22年10月1日（金）

15:00-17:30

場所：東京大学医学部本館大講堂
（東京都文京区本郷7-3-1）

1. 今日の医療における病理解剖の意義と役割
深山正久（東京大学教授，病理学）
2. 内科医療と病理解剖
栗山 勝（脳神経センター大田記念病院院長，
日本内科学会認定医制度審議会会長，内科学）
3. 外科医療と病理解剖
国土典宏（東京大学教授，外科学）
4. 医療安全と病理解剖
原 義人（青梅市立総合病院院長，
医療安全調査機構中央事務局長，医療安全）
5. 法医学解剖か、病理解剖か、その区別
岩瀬博太郎（千葉大学教授，法医学）
6. 病理解剖と死亡時画像診断
兵頭秀樹（札幌医科大学講師，放射線医学）
7. 病理解剖への期待と限界
原 昌平（読売新聞大阪本社編集委員，メディア）
8. 総合討論
ご遺族特別発言

座長 長村義之（国際医療福祉大学教授，病理学）
黒田 誠（藤田保健衛生大学教授，病理学）

◎参加を希望される方は、参加を希望される方の氏名、ご所属、連絡先（メールアドレス、FAXなど）をご記入の上、下記までFAXにて、ご連絡下さい。

300名を超える場合は受け付けることができません。予めご了承下さい。

東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学分野 医局内

「日本学術会議 公開シンポジウム 医療における病理解剖」受付 FAX 03-5800-8785

主催 日本学術会議基礎医学委員会病態医科学分科会，
厚生労働省科学研究費黒田班
（平成22年度地域医療基盤開発推進研究事業・剖検率に影響を与える諸因子に関する研究）

共催 日本医歯薬アカデミー
後援 日本病理学会